

県下の交通事故

(平成10年3月20日現在)

年別	発生件数	死者	傷害
平成9年	1,165件	12人	1,585人
平成10年	1,266件	11人	1,618人
比較	+101件	-1人	+33人



◆ 第122号 ◆
 発行所 甲府市丸の内一丁目9-11
 〒400-0031 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 山梨県交通安全活動推進センター
 TEL 甲府 (0552) 32-4682
 (0552) 37-7827



命の尊さを学ぶ交通安全教育は幼児期から

運動の重点

- 一、子どもと高齢者の交通事故防止
- 二、シートベルトの着用の徹底

第一〇〇回目の春の全国交通安全運動

4月6日(月)から
4月15日(水)まで

今年も春の交通安全運動が四月六日から十五日まで十日間実施されます。この運動は、県民一人ひとりに交通安全の知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに交通安全ルールを守って正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ろうとする運動です。

昭和二十三年第一回から今回で一〇〇回目の運動なので成功させましょう。昨年の交通事故による死者は、全国では九千六百四十人(前年比三百二人減)で二年連続して一万人をきりました。しかし、県内では百十人(一人減)で、昨年も残念ながら二ヶ台の達成はできませんでした。

事故発生件数及び負傷者数とも大幅に増加しており死亡事故につながりかねない状況です。今年全国の交通事故死者は、三月二十日現在千八百二十三人で、前年

同期より二百三人減少していますが、例年後半に死亡事故が増えるので十分気をつけましょう。県内の交通事故による死者は、三月二十日現在十一人で、前年より一人減少し、発生件数と傷者数はやや増加しています。

運動の重点である二項目(別掲)は、交通事故の分析結果から導かれたものです。●子供の交通事故防止 子供(十五歳以下)の

●高齢者の交通事故防止 高齢者(六十五歳以上)の死者は、昨年は二十八人(六人減)で、状態別では歩行中の死者が十三人、四輪運転中が十

一人となつています。高齢になりまると、身体的、心理面から視聴覚や身体の動きなど情報処理能力が低下し、さらに柔軟性がなくなり頑固に自分のペースを守るなどの特性があります。

●シートベルト着用の徹底 県内の走行車両のシートベルトの着用率については数回調査しましたが、春・秋の交通安全運動中の成績は良くても通常時の着用率は低いようです。昨年の全交通事故についてみると八二・五%、死者については二八・八%と、重大事故になるほど着用率が低くなつていまして、死亡事故を防ぐためにも、シートベルトは必ず着用しましょう。

交通安全のために

人災として発生する交通事故、今日もどこかで多くの涙が流されています。苦しみに耐える家族がいます。また、昨年、全国では九、六四〇人が交通事故で亡くなり、本県でも一〇〇人が尊い命を失っています。

総務庁が発表した交通事故の社会的損失額の換算によると、その額は四兆三五〇〇億円になるといわれ、平成一〇年度本県予算の約九倍に相当する額となります。

ところで、車の性能等は、技術の進歩により安全性が追求されてきていますが、一部ドライバーの安全意識の欠如により車も時として凶器になり

交通安全

一方、交通事故の際、被害を軽減してくれるのがシートベルトです。シートベルトの着用が義務化されて以来、すでに二年が経ちますが、最

つたケースも見られませんが、シートベルトは命綱であり、締めることは安全意識の表明です。転ばぬ前の杖として習慣とさせることが必要です。

さて、今年の春の全国交通安全運動は、昭和二十三年から数えて一〇〇回目を迎え、息の長い運動として定着しています。ヒヤッとしたその瞬間を忘れることなく、今日もゆとりをもって安全運転に心掛けていただきたいと思います。



県警交通調査官 鈴木正明

近、交通事故に関する損害賠償請求事件につき、シートベルトの着用・非着用による過失相殺判例が多く出されています。たとえ被害者であっても損害額が減額されるとい

交差点

人間の行動は、判断・操作によって構成されており、また英米両国の大学が行った交通事故要因分析結果では、事故は運転者と環境や車両等との絡み合いで発生し、うち運転者のミスやエラーによる事故が全体の約85%を占めるそうです。

●認知ミスは脇見運転のように他のことに気をとられ、判断ミスは車間距離違反のような自分の技量不足や過信、また操作ミスはブレーキとアクセルの踏み違いなどを言い、これら人的事故要因としては認知と判断の両ミスが多いようです。

●人間生活に便利な道具のナイフを、中学生が凶器として使用した殺傷事件が多発し社会問題化しています。若者は長野オリンピックのスキー競技等で大活躍をし、わが国民に感動と勇気を与えた無限の可能性をもつ世代なので、短絡でない深い議論が望まれます。

●人の知恵の集大成である文明の利器自動車は、私達に多大な恩恵をもたらす反面、生命や環境等に脅威を与える「両刃の剣」的存在であり、人と車は上手に付き合うしかないのである。

●車と刃物は人間生活に不可欠なもので、使う人が使用目的を正しく認識し、その使い方を慎重に判断し、使用する時は着実に操作するなど、行動の各段階でのミスを少なくしていけば必ず交通事故や事件等の抑止につながるといえます。

第38回交通安全国民運動中央大会

金章に松田・大久保氏

富士吉田安協に優良交通安全協会賞



全日本交通安全協会（平岩外四会長）と都道府県交通安全協会（連合会）主催の第三十八回交通安全国民運動中央大会は、東京都内で二月二十七日に分科集会、翌二十八日に本会議と二日間の日程で慎重な議論が交わされ盛大に開催されました。

日比谷公会堂で開かれた本会議

表からは特に発表がありませんでした。しかし、家庭部会には小笠原安協の河西美佐子婦人部長が出席し熱心に研修を受け、その成果について、二月二十四日石和町内のホテルで開催

第一日目の分科会は都内新宿区のホテル海洋で行われ、地域・企業・家族の三部会に分かれ、安協・安管協・企業等の代表者から日ごろの活動状況等についての発表が行われ、続いて活発な意見交換も行われました。

本年は、地域・企業・家庭部会とも、本県の代表からは特に発表がありませんでした。しかし、家庭部会には小笠原安協の河西美佐子婦人部長が出席し熱心に研修を受け、その成果について、二月二十四日石和町内のホテルで開催

このあと交通安全大会宣言が採択され、この会議に参加した全国各都道府県交通安全協会の役員等全員が、今年も交通安全全語活動を精一杯推進することを確認しました。

- （優良運転者）
 山梨県自転車軽自動車商協同組合 協会長 大久保 光雄
 山梨県交通安全協会 協会長 日向 正己
 山梨県交通安全協会 協理 都留安 誠治
 山梨県交通安全協会 協理 相澤 誠治
 山梨県交通安全協会 協理 井手 恒蔵
 山梨県交通安全協会 協理 高崎 昇一
 山梨県交通安全協会 協理 宮下 吉男
 山梨県交通安全協会 協理 古男

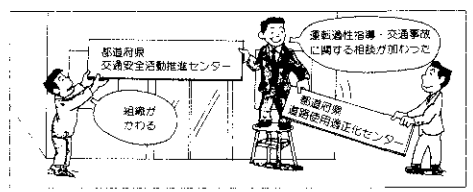
山梨県交通安全協会「交通安全活動推進センター」として指定

今年四月から従来の道路使用適正化センター（県安協内）の事業に、交通安全に関する事項の広報、啓発活動、交通安全に関する相談等に対する支援活動等を行うことができると認められる公益法人として、山梨県交通安全協会が「交通安全活動推進センター」として指定を受けました。

山梨県交通安全協会が「交通安全活動推進センター」として指定

今年四月から従来の道路使用適正化センター（県安協内）の事業に、交通安全に関する事項の広報、啓発活動、交通安全に関する相談等に対する支援活動等を行うことができると認められる公益法人として、山梨県交通安全協会が「交通安全活動推進センター」として指定を受けました。

また、四月から施行の改正道交法によると、免許を取消された場合の欠格期間の上限が三年から五年に延長、暴走行為を指揮するリダー等重大違反をさせた者の免許の取消し、本人の申請による免許の取り消しなどが規定されていますので、お互い気をつけましょう。



昨年は、県内の交通事故死者数は百十人で前年比では一人減少しましたが、二年連続二ケタ台は達成できませんでした。また、事故発生件数と死者数も激増するなど極めて憂慮すべき状態です。

県安協は、改正道交法により、今年四月一日から交通安全活動の中核的存在として「山梨県交通安全活動推進センター」の指定を受け、さらに十月一日には軽微違反者講習（実車及び社会参加活動等）の委託も受ける予定で、事業も増えます。

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

安全で快適な交通社会の実現に向け、県安協は、県警察、関係機関、団体と緊密な連携を

平成十年度事業計画

①反射材の着用促進の四
 点として以下諸事業を実施します。

一、各種交通安全運動等
 の実施

二、平成十一年交通安全
 国民大会の開催（一月）

三、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

四、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

五、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

六、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

七、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

八、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

九、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

十、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

十一、交通安全の広報・啓
 発活動の推進

十二、交通安全の広報・啓
 発活動の推進



表彰式であいさつをする天野知事

851チームが達成

～チャレンジ200作戦～
 参加は1,528チーム

県交通安全協会、新たに任務に指定された「交通事故相談業務」や「運転適性指導」など事業推進の具体的な方法等について検討しました。

また、四月から施行の改正道交法によると、免許を取消された場合の欠格期間の上限が三年から五年に延長、暴走行為を指揮するリダー等重大違反をさせた者の免許の取消し、本人の申請による免許の取り消しなどが規定されていますので、お互い気をつけましょう。

自動車や原付自転車には必ず任意の自動車損害保険代理店
株式会社 たいよう共済山梨支店
 甲府市丸の内2丁目32-13
 日東ビル4階
 TEL0552-28-0691

